

## 部局 FD 活動報告



①都市教養学部 人文・社会系／人文科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	現在、学系／研究科の制度的な取り組みとして学生による授業評価アンケートは実施していない。各教室によって教育の方法や学生数などが異なるため、統一したアンケートはさほど効果的ではないためである（独自にFDアンケートを実施している教室もある）。その代わりに、各教室ごとに、少人数体制における教員と学生の密接な対話を通じて、授業の質や教育の方法に関する意見交換がつねにおこなわれ、授業改善に役立っている。
	研究会・講演会・セミナー等	2012年5月30日、南大沢キャンパスにて「映画『無常素描』上映・討論会—アクティブ・ラーニングの実践のために」を開催した。東日本大震災と原発事故という複合災害は、人文社会の知に大きな課題を突きつけている。人文社会の知がいかなる言葉やイメージでこの出来事を思考することができるのか。映画上映と討論を通じて、大震災と学術をめぐる問いを浮き彫りにし、参加した教員、学生（本学及び他大学）、市民ら約100名のあいだで積極的な学びの経験が共有された。
	外部評価等	
今後の予定・展望		すでに各教室において授業に関する学生の意見が汲み上げられ、授業の改善に活かされている。今後は各教室で収集された有意義な意や建設的な批判を、学系／研究科の全体でいかに共有するかについて議論していく必要がある。

②都市教養学部 法学系法律学コース・政治学コース		
取り組みの現状	学生による授業評価等	通年開講の専門教育科目(15科目)を対象とした、学生による授業評価アンケートを実施した。年度末までに集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立てる。
	研究会・講演会・セミナー等	「法学系FD委員会」(「大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院(社会科学研究科法学政治学専攻)主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成)を組織している。
	外部評価等	
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでに7年にわたって実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らの担当する授業や教育環境の改善に反映させていく。</li> <li>○法学系のFD活動のあり方に関する法学系FD委員会における議論をより活発化させる。</li> <li>○各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学系全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。</li> </ul>

③社会科学研究科 法学政治学専攻

取 り 組 み の 現 状	学生による授業 評価等	各クラスの受講者数が極めて少ないため、学生による授業評価はなじまない。 授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、各分野における総合演習や修士論文・博士論文といった成果によって評価される。
	研究会・講演 会・セミナー等	(全体) 「大学院社会科学研究科法学政治学専攻 FD 委員会」(「法学系 FD 委員会」と合同。大学院(社会科学研究科法学政治学専攻)主任、FD 委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成)を組織している。 (政治学分野) ①毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。 ③政治学分野に所属する全教員・院生で構成される「政治学 FD 会議」を開催している。政治学 FD 会議は、学期初の回(4月・1月)では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回(7月・2月)では、学期初に掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。 (法律学分野) 教員・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に行い、研究・教育水準の向上を図っている。
	外部評価等	
今後の予定・展望	2007 年度から大学院 FD の実施が求められているも踏まえ、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及び FD 活動のさらなる充実に向けた検討を、大学院社会科学研究科法学政治学専攻 FD 委員会を中心に行っていく予定である。	

④社会科学部 法曹養成専攻

取り組 みの 現 状	学生による授業 評価等	法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、各学期ごとにすべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制(オフィスアワーなど)、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立てている。また、このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善に役立てている。
	研究会・講演 会・セミナー等	①FD会議等の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。さらに、専門領域ごとにFDに関するミーティングを適宜開催している。 ②各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学評価・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等に参加している。
	外部評価等	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、2004年11月、2005年7月に文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受け、2006年11月に、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた。さらに、2008年度には、法定化されている大学評価・学位授与機構による法科大学院認証評価(第三者評価)を受け、2013年度に新たな適格審査を受ける必要がある。 なお、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表している。
今後の予定・展望	2008年度の法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、上記のような取り組みを継続する。 しかし、継続的に上記のような取り組みを実施し、法科大学院をよりよいものとするために人的体制を整備する必要があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員、法科大学院認証評価結果等において指摘されているところである。 したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を至急講じなければ、適正な法科大学院の運営はきわめて困難である。また、2013年に法科大学院認証評価(第三者評価)を受けるため、管理課長が週に一度(2時間程)しかいない現在の事務体制の強化が必須である。	

⑤都市教養学部 経営学系		
取り組みの現状	学生による授業評価等	本年度は前期(6月7日から6月18日)と後期(11月15日から11月30日)の2回、学生による授業評価アンケートを実施した。それぞれ5科目と50科目の規模で行い、のべ履修者数はそれぞれ318名と4,958名であるが、回答率はそれぞれ38.7%と26.0%であり、昨年の14.4%と21.4%よりも大幅に上昇した。WEBアンケート形式への周知がなされてきたことなどが背景として考えられる。
	研究会・講演会・セミナー等	本年度開催されたFDセミナー等に関する周知を行い、教員の積極的な参加を呼び掛けるとともに、実際に参加して授業改善のための取り組みに関する情報収集等を行った。
	外部評価等	
今後の予定・展望		アンケート調査だけに頼るのではなく、教員間で頻繁に意見を交換し合うことで、授業内容等の改善に取り組んでいく。

⑥社会科学部 経営学専攻		
取り組みの現状	学生による授業評価等	本年度は前期(7月9日から7月27日)と後期(1月19日から2月1日)の2回、学生による授業評価アンケートを実施した。それぞれ25科目ずつの規模で行い、のべ履修者数はそれぞれ405名と290名である。前期の回答率は49.8%(昨年度同期は50.5%)であった。(本調査票記入日において後期の結果はまだでていない。)
	研究会・講演会・セミナー等	高度専門職業人養成プログラムでは、教員間で意見を交換し合うことで、授業内容等の改善を絶えず行っている。全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し、授業改善のための情報収集を行った。下記に記載された「公共経営の人材プログラム」実施の成果を広く社会に還元するため、公共経営アクションリサーチ成果報告会「防災と復興のマネジメント」を開催し、盛況であった。本年度に行われたアクションリサーチに関しても同様の取り組みを予定している。
	外部評価等	経営学専攻の「公共経営の人材育成プログラム」は、文部科学省の重点支援事業「大学院教育改革支援プログラム」に審査のうえ採択され、平成19～21年度に重点的な財政支援を受け、5段階評価中4と高い評価を得たが、本年度もこれを受けて「公共経営の人材育成プログラム」を実施した。来年度に向けて再び検討中である。
今後の予定・展望		アンケート調査だけに頼るのではなく、教員間で頻繁に意見を交換し合うことで、授業内容等の改善に取り組んでいく。



⑦都市教養学部 理工学系		
取り組みの現状	学生による授業評価等	<p>(1) 理工学系 6 コースのすべての専門科目の授業評価 (S E および T E) を実施した。集計結果は個々の担当教員に示すと同時に理工 FD 委員会で討議し、課題や授業改善の到達状況を共有化することに努めた。また過去 5 年間のアンケート結果の経年変化のグラフ化を行い、概ね評価が上昇していることを確認すると共に、今後の課題の検討を行った。</p> <p>(2) 理工系共通基礎科目・専門科目のすべてについて、各教員が行った成績評価の結果を集計し、評価基準について議論した。また、理工学系全体および各コースにおける専門科目の成績評価の平均値の経年変化をグラフ化し、最近 5 年間で各コース間の差が大幅に減少したことを確認した。</p> <p>(3) 各教員の授業改善への取り組みを理工系全体で共有する目的で、10 名の理工系教員に「授業改善のポイント・コツ」などに関して執筆いただいた。それらを冊子「評判のいい理工専門科目：講義のコツとポイント」として理工系全教員に配布する予定である。</p> <p>(4) 各授業担当者による授業アンケート結果の活用状況を把握するため、「理工学系専門教育科目に関する授業評価アンケート二次調査」を行い、今後改善を要する点について FD 委員会で検討した。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	毎月理工学系 FD 委員会を開催し、各コースにおける FD 活動の報告と意見交換を行うと共に、授業アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施など理工系として検討すべき事項について議論をしている。
	外部評価等	一昨年度(22 年度)に実施された全学の認証評価において、理工学系の FD 活動に関する指摘は特になかった。ただし大学全体に対して、「GPA や CAP 制について、大学全体としての方針を定める」という指摘事項があり、第 2 期中期計画においても、成績評価の考え方・方針・水準等に関する共通理解・認識を一層深めることとなっている。昨年度から始めた成績評価の経年変化のグラフ化は、このための重要な資料になると考えている。
今後の予定・展望	従来から行っている検討に加えて、一昨年度から開始したアンケート結果の経年変化のグラフ化を継続し、授業評価アンケート結果を具体的かつ有効な改善内容に結びつけるシステムとして定着させる。成績評価の経年変化のグラフ化についても引き続き行い、理工学系としての方針検討の資料とする。さらに、二次調査結果等を参考とした講義環境改善、および各教員の授業改善への取り組みの共有化を進める。	

⑧理工学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	6 専攻において個々に大学院生に対するアンケート調査などを行い、理工学系 FD 委員会でその結果を審議した。大学院生の場合、授業を受講する時間より、研究室で研究活動に費やす時間が圧倒的に多いことを考慮して、大学院講義に対する評価に加え、研究に対する満足度、研究環境、並びに研究、勉学へのサポート体制に対する要望収集も質問項目に含めた。FD 委員会のみでは改善が困難な場合は、適宜教務委員(大学院担当)、専攻長、研究科長等と相談し、改善を図った。
	研究会・講演会・セミナー等	理工学研究科では、各専攻においてカリキュラムや講義内容を検討する会合を持ち、授業改善と研究環境改善に関する施策を日々行っている。また毎月理工学研究科 FD 委員会を開催し、各専攻における FD 活動の報告と意見交換を行うと共に、学生アンケートの方法など理工学研究科として検討すべき事項について議論をしている。
	外部評価等	一昨年度(22 年度)に実施された全学の認証評価においては、理工学研究科の FD 活動に関する指摘は特になかった。
今後の予定・展望	5 年前から始めた大学院 FD 活動の実施状況をまとめると共に、実施方法の一層の改善を図る。	

⑨都市環境学部／都市環境科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	当該年度の前期および後期の各コース専門科目について、従前通り学部学生による授業評価アンケートを実施した。対象科目は原則として、非常勤担当科目、実験・演習科目、受講者数が10名程度以下の科目、を除く全科目とした。 アンケートは各科目の担当教員に対しても実施し、アンケート結果および自由記述の内容を各担当教員に配布し授業改善に努めた。
	研究会・講演会・セミナー等	全学で実施するFDセミナーや講演会に参加し授業改善のための情報収集を行った。地理環境コースでは、専任教員の提供する講義について、他の複数の教員が授業参観を行うなどの相互チェックを実施し、授業改善に生かしている。都市システム学域では、博士前期課程の研究の進捗をシステムティックに管理するセミナーを実施しており、教員は発表に対して必ず書面でフィードバックを行うことを要求している。
	外部評価等	
今後の予定・展望		学生による授業評価・教員による授業評価結果を有効に活用して、授業改善の取り組みを継続していく予定である。なお、評価結果の教員へのフィードバックをより早くするような体制を構築することを検討したい。

⑩システムデザイン学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	システムデザイン学部で開講された授業(演習、実験科目を除く)について、学生による授業評価アンケートを前期開講科目については2012年7月、後期開講科目については2013年1月に実施した。アンケート結果を各科目毎にまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行った。また、SD学部・研究科FDニュースとして配布、周知を行い、授業改善に努めた。尚、本年度も昨年度から引き続き授業担当者による任意の質問を2項目設け、授業担当教員が知りたい事項についてのアンケートを行えるようにした。自由記述欄のフィルタリングについては、辛辣な表現であっても授業担当者へそのままフィードバックを行うことについて部会にて協議し、本年度実施分より全学と同様の規定にて運用することを決定し、実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	2012年11月29日開催の首都大学東京FDセミナー「学生の自主的学習を促す授業デザイン～D P・C Pで明示した学習成果を身につけるために～」について、テレビ会議システムを用いて日野キャンパス会場(2号館2-301教室)への中継を行った。
	外部評価等	
今後の予定・展望		今後も引き続き学部・研究科合同のFD部会を定期的で開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。SD学部実施の授業評価アンケートについて、実施科目の見直しも含めて、来年度中に協議する。更に、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へ繋げて行く方策などを検討したい。



⑪システムデザイン研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	システムデザイン研究科で開講された授業(演習、実験科目を除く)について、学生による授業評価アンケートを前期開講科目については2012年7月、後期開講科目については2013年1月に実施した。アンケート結果を各科目毎にまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行った。また、SD学部・研究科FDニュースとして配布、周知を行い、授業改善に努めた。尚、本年度も昨年度から引き続き授業担当者による任意の質問を2項目設け、授業担当教員が知りたい事項についてのアンケートを行えるようにした。自由記述欄のフィルタリングについては、辛辣な表現であっても授業担当者へそのままフィードバックを行うことについて部会にて協議し、本年度実施分より全学と同様の規定にて運用することを決定し、実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	2012年11月29日開催の首都大学東京FDセミナー「学生の自主的学習を促す授業デザイン～D P・C Pで明示した学習成果を身につけるために～」について、テレビ会議システムを用いて日野キャンパス会場(2号館2-301教室)への中継を行った。
	外部評価等	
今後の予定・展望		今後も引き続き学部・研究科合同のFD部会を定期的に行い、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。SD研究科実施の授業評価アンケートについて、実施科目の見直しも含めて、来年度中に協議する。更に、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へ繋げて行く方策などを検討したい。

⑫健康福祉学部		
取り組みの現状	学生による授業評価等	荒川キャンパスFD部会を5回、又、適宜メール会議を行った。健康福祉学部専門科目について、非常勤講師による授業も含め前期・後期の授業アンケートを実施した。結果について、本部局として初めて2次分析を行い、分析結果を公開した。
	研究会・講演会・セミナー等	9月28日の荒川キャンパスデーに際して、FDセミナーを行い、授業評価アンケートの意義と2次分析について1年生学生及び教職員に対して講演した。
	外部評価等	
今後の予定・展望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的なFD活動をしている保健医療系大学への訪問調査</li> <li>・FD関連書籍、報告書の収集</li> </ul>

⑬人間健康科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業評価等	荒川キャンパス FD 部会を 5 回、又、適宜メール会議を行った。
	研究会・講演会・セミナー等	昨年度より、人間健康科学研究科 FD セミナーは健康福祉学部 FD セミナーと合同で行うことになった。本年度は健康福祉学部向けのセミナーを行った。
	外部評価等	
今後の予定・展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な FD 活動をしている保健医療系大学への訪問調査</li> <li>・FD 関連書籍、報告書の収集</li> </ul>	

# FD 委員会活動報告

平成 24 年度 FD 委員会活動記録

平成 24 年度 FD 委員会委員



## 平成 24 年度 F D 委員会活動記録

### <研修・セミナー>

#### 平成 24 年 4 月 5 日(木) 新任教員研修

【本学の紹介】 首都大学東京の紹介

上野 淳 (首都大学東京副学長)

首都大学東京の教育プログラムについて

山下 英明 (FD委員会委員長)

首都大学東京の学生支援について

西村 和夫 (学生サポートセンター副センター長)

首都大学東京の事務組織および運営体制の概要

中島 敬子 (大学教育推進担当課長)

【講演】 「授業デザイン：マクロな目標からミクロな手法へ」

大森 不二雄 (大学教育センター教授)

#### 平成 24 年 5 月 30 日(木) FD・SDセミナー

【基調講演】 「大学における教員・職員の連携の重要性」

村上 正行 (京都外国語大学マルチメディア教育研究センター准教授)

【ワークショップ】 テーマ「教職協働による学生支援を考える」

#### 平成 24 年 11 月 29 日(木) FDセミナー

テーマ 「学生の自主的学習を促す授業デザイン」  
～DP・CPで明示した学習成果を身につけるために～

【基調講演】 「インストラクショナルデザインに基づいた授業デザインの方策」

鈴木 克明 (熊本大学大学院教授)

【講演】 「ディプロマ・ポリシー (DP) とカリキュラム・ポリシー (CP)

～学生の主体的学習と学習成果に繋げる視点から～

大森 不二雄 (大学教育センター教授)

### <授業評価アンケート>

#### 平成 24 年 7 月 9 日(月)～7 月 23 日(月) 前期授業評価アンケート実施

(基礎ゼミナール、都市教養プログラム、実践英語 Ia、情報リテラシー実践 I、理工系共通基礎科目)

#### 平成 25 年 1 月 4 日(金)～1 月 21 日(月) 後期授業評価アンケート実施

(都市教養プログラム、実践英語 IIb、第二群言語科目、情報リテラシー実践 IIABC、理工系共通基礎科目)

【平成24年度FD委員会 議事一覧】 各回の議事から、主なものを掲載

	審議事項	報告事項ほか
第1回 (4月26日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度前期授業評価アンケートの実施</li> <li>平成25年度以降のアンケート実施方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度新任教員研修の実施報告</li> <li>別冊クロスロード6号の発行</li> <li>平成23年度決算 / 平成24年度予算</li> <li>平成24年度FD・SDセミナー</li> <li>平成24年度 年度計画</li> <li>各部局FD委員会報告</li> </ul>
第2回 (5月24日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度前期授業評価アンケートの質問項目</li> <li>平成25年度以降のアンケート実施の方針</li> <li>平成24年度FDセミナーの企画案</li> <li>後期授業評価アンケートの二次分析依頼</li> <li>授業評価アンケートの外部委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割分担</li> <li>平成24年度FD・SDセミナー</li> <li>別冊クロスロード6号のデザイン</li> <li>各部局FD委員会報告</li> </ul>
第3回 (6月28日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの外部委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度FD・SDセミナー開催報告</li> <li>別冊クロスロード6号の発行</li> <li>前期授業評価アンケートの実施</li> <li>各部局FD委員会報告</li> </ul>
第4回 (9月27日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期授業評価アンケートの自由記述フィルタリング</li> <li>後期授業評価アンケートの実施</li> <li>前期授業評価アンケートの個票データ提供依頼</li> <li>平成25年度年度計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期授業評価アンケートの集計結果報告</li> <li>プレーンストーミング(1)</li> </ul>
第5回 (10月25日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別冊クロスロード7号の企画案</li> <li>クロスロード12号の企画案</li> <li>首都大学東京全学共通科目に関する授業評価アンケート実施要項の改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレーンストーミング(2)</li> </ul>
第6回 (12月27日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度年間活動テーマ及び年間活動計画案</li> <li>平成25年度FD・SDセミナーの企画案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度FDセミナー開催報告</li> <li>前期授業評価アンケート二次分析結果の報告</li> <li>後期授業評価アンケートの実施</li> <li>平成24年度各部局FD活動状況報告書作成の依頼</li> <li>別冊クロスロード第7号の発行</li> <li>プレーンストーミング(3)</li> </ul>
第7回 (1月31日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度以降の授業評価アンケート実施体制</li> <li>平成25年度新任教員研修の企画案</li> <li>平成24年度教育改善点調査</li> <li>FD委員会規程の改正</li> <li>授業評価アンケートにおける都市教養プログラムの情報提供依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスロード12号の編集状況</li> <li>各部局FD活動状況の調査報告</li> <li>後期授業評価アンケートの実施状況</li> <li>平成25年度年間テーマ・活動計画</li> </ul>
第8回 (2月28日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度以降の授業評価アンケート実施体制</li> <li>平成25年度FD・SDセミナー</li> </ul>	
第9回 (3月28日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度委員会への申し送り事項</li> <li>後期授業評価アンケートの自由記述フィルタリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロスロード12号の発行</li> <li>後期授業評価アンケートの結果報告</li> </ul>



## 平成24年度 F D委員会委員

	所 属	氏 名
委員長	大学教育センター長	山下 英明
委員	都市教養学部人文・社会系	西山 雄二
〃	人文科学研究科	平井 洋子
〃	都市教養学部法学系	門脇 雄貴
〃	都市教養学部経営学系	松田 千恵子
〃	社会科学研究所	〃
〃	都市教養学部理工学系	倉田 和浩
〃	理工学研究科	岡本 龍史
〃	都市環境学部	清水 哲夫
〃	都市環境科学研究科	〃
〃	システムデザイン学部	大久保 寛
〃	システムデザイン研究科	金子 新
〃	健康福祉学部	渡邊 賢
〃	人間健康科学研究科	〃
〃	大学教育センター	大森 不二雄
〃	教務委員会委員長	大橋 隆哉
〃	基礎教育部会部会長	高野 一良

オブザーバー	大学教育センター	渡辺 雄貴
--------	----------	-------

事務局	首都大学東京管理部教務課	大学教育推進担当課長	中島 敬子
〃	〃	教育支援・評価係長	安部 祐子
〃	〃	教育支援・評価係	佐藤 麻衣子